

**防災・減災対策の推進について（案）**  
**～骨太の方針の修正を～（提言）〔論点〕**

**1 防災・減災対策予算の安定的・継続的確保及び財政支援の充実**

骨太の方針の中で、国土強靱化、防災・減災については「重点化・優先順位付け」を行い、「重点的・効率的な推進を図る。」とされたが、人命に重点はなく、国民の生命、財産を守るために、防災・減災対策に資する思い切った社会資本整備が急務である。

また、社会資本ストック推計による純資本ストックは近年減少を続けており、現在の純資本ストックを維持するだけの投資すら行われていない状況にある。

このため、社会資本整備に十分な予算を安定的・継続的に確保するとともに、地方においても計画的に対策に取り組めるよう緊急防災・減災事業債の恒久化や要件緩和など起債制度の拡充や新たな交付金の創設を含め確実な財源措置等を行うなど、地域の実情に応じた柔軟な対応を図るべきである。

**2 原子力災害における予測的手法の活用**

骨太の方針の中には「原子力災害・モニタリング対策の充実・強化を引き続き推進する。」とあるが、防災基本計画の見直しでは、原子力災害時、防護対策を判断するための予測的手法の活用は削除された。

モニタリングの実測値のみによる判断では、住民の被ばくを前提に避難指示等を行うこととなるほか、早い段階からの対応が必要な要支援者等への対応が遅れかねないため、国において SPEEDI 等の何らかの予測手法を活用する仕組みを構築すべきである。